

正覚寺だより

# スジャータ

59

平成28年(2016)

元旦発行

〔スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である〕

短期集中 仏教講座

ご じゅう そう でん

## 五重相伝

● 平成30年10月31日(水)より5日間

東京法要

明るい遺影撮影会



平成27年9月6日 石見教区東京法要  
於：大本山 増上寺

〔住職のつぶやき〕

### 生き抜く

— 一からここを 漕いで卒寿の 風まかせ —



[住職のつぶやき]

# 生き抜く

—ふらここを 漕いで卒寿の 風まかせ—

住職／山縣 正紀



辛夷の花

俳句では、ブランコの事を「ふらここ」と言うそうだ。

「自然には逆らえない、<sup>はかな</sup>儂さを詠みたかったのです」

と書き添えて、卒寿を迎えられた井村キヨノさんが、幾つか送って下さった中の一つが表題の句である。

檀家のご婦人で、いま満91歳、正覚寺の近くでお元気に暮しておられる。

次に、

<sup>せきしゅん</sup> <sup>よわい</sup>  
惜春や 齢は人の 符号かも

惜春とは、ゆく春を惜しむこと。

「よくも90歳まで長生きが出来たものよ、と喜びながらも一抹の寂しさがあります。その口<sup>く</sup>惜<sup>や</sup>しさを、年齢は人の符号に過ぎないんだよ、と開き直ってみた所です」

一つ一つに、句を詠まれたときの気持ちを書き添えて下さったので、まったく心得のない私にも、その心境がよく分かるのである。

また、

残り火の 恋思ふのみ レモン切る

「私の願望です。季語をレモンにしたことで、句のべたつきが避けられたと思います」

満月や 老女ではない 熟女です

「せめてもの抵抗です」

そして、

杖つかぬ 卒寿の<sup>いこじ</sup> <sup>おおはなの</sup>依怙地 大花野

「大花野とは沢山の花の咲いている秋の野辺の事です。娘が杖をついてくれと言いますが、老人くさいからと頑<sup>かたく</sup>なに、娘の腕にしがみついて歩いています」

そういえば、井村さんが杖をついているのを見たことがなかった。見るのは、いつも母と娘が寄り添う微笑ましい姿ばかりである。

<sup>こぶし</sup>  
辛夷さく 九十歳の 登り坂

「早春に、芳香ある白色の大きな花を開くモクレン科の辛夷。90歳ともなれば足腰も悲鳴をあげています。それでも辛夷の花を目標に一步一步踏み締めて生きたい。そんな気持ちを詠みました」

最後の「登り坂」に「凄いなあ」「素晴らしいなあ」と感服させられた。井村さんは色白で華やかな、まったく辛夷の花のような方なのである。

ほかの句も紹介しておこう。

人生に 卒業はなし 九十歳  
<sup>はばか</sup> 憚りて 口紅うすく <sup>すい</sup> <sup>ふよう</sup> 醉芙蓉 (蓮の華の別名)  
夏瘦せを 知らぬ女の 卒寿かな  
ためらはず 十年日記 買いにけり

最後にもう一句

飾るもの 何も無くって <sup>ふゆ</sup> <sup>こだち</sup> 冬木立

「私の舌足らずの句を、判ってもらえて嬉しかった句です」

と添え書きにあった。

落葉樹がすべて葉を落として行く冬枯れの木立の様子に、何もかも次第に失って行く、長い人生を重ねられて詠まれた句であろうか。

でも、足元を見れば厚く積もった落葉でしっかりと守られている。しかも葉が散ったお陰で見通しが良く青い空が仰げる。冬だけど明るく暖かい日差しが降り注いでいる。

そんな情景も思い浮かぶ。幾多の悲しみ喜びを乗り越えて来て、何事にも動じない達観した境地がうかがえる句だと感じる。

私も還暦を過ぎて数年、ごく若い頃には見えなかった事、思いもしなかった事を感じたり考えたりする様にもなった。井村さんの俳句を読ませて頂いて、平坦ではない人生を生き抜いて来られた高齢の方々の胸中を、少し垣間見た様な気がする。

頭脳明晰に、そして健やかに卒寿を迎えるのは容易な事ではない。例えると、かなり高額な宝くじに当たる程の僅かな確率ではないだろうか？

### ふらここを漕いで卒寿の風まかせ

長かろうが短かろうが、与えられた命を最後まで爽やかに生き抜きたいものである。

## 賀 正

さわやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平和で毎日が明るく

天候も穏やかで

災害や病気の流布もなく

国が栄え国民が安心して暮らし

争いもなく徳を尊び

人を思いやり礼儀正しい

そんな世の中になりますように

正覚寺だより「スジャータ」は年頭の賀状も兼ね、全檀信徒にお送りしますので、昨年ご不幸があったご家庭にも年賀として届く失礼をお許し下さい。

# 首都圏在住の皆さまと絆深める 『東京法要』を勤めました

平成27年9月6日(日) 14時から 大本山 増上寺 大殿にて

日ごろ遠方のため、古里の正覚寺やお墓参りが出来にくい東京近郊の檀家の皆さまのため、東京都港区の大本山増上寺にて「東京法要」を開催致しました。表紙はその時の記念写真です。

正覚寺としては初めての試みですが、以前より続けている石見教区（島根県西部地域の浄土宗寺院の集まり）の法要に、特別に加えて頂き実施したものです。

20ヶ寺の合同開催、正覚寺からも住職と副住職が参加して列席僧侶25名による大法要が勤まりました。

故人の戒名を読み上げて供養するご回向、内陣での焼香の後、約1時間の法話を聴聞して頂きました。

全体では79家族184名の参加者。正覚寺としては、首都圏在住の30数軒へご案内したところ、6家族13名の方がお参り下さいました。

その中で、呉の高校を卒業以来数十年の女性二人が、この東京法要で初めての再会という予期せぬ感動的なドラマも生まれました。

「お互い、よく分かりましたね!？」

と驚いた事でした。

今年も開催の予定です。ご兄弟やご子息が東京近郊にお住まいで、ご希望される方へは案内状をお送りします。どうぞご連絡下さい。

普段は遠く離れて忙しく、中々会う事の少ない家族親戚が増上寺で会う。皆で一緒に手を合わせてお参りする。そんな素敵な機会に利用して頂ければと思います。



増上寺 山門

法事を勤めることは、残った家族親族が、故人に導かれて縁を深める良き機会になると思います。

## 平成28年 年回表

- 今年の法事は右の表の様になります。参考にして各家の位碑などを調べて下さい。
- 25回忌は、される方もされない方もあります。
- おおむね3ヶ月前から受け付けています。まず日時を正覚寺と相談の上、予定を決めて下さい。

|        |          |
|--------|----------|
| 1 周忌   | 平成 27 年亡 |
| 3 回忌   | 平成 26 年亡 |
| 7 回忌   | 平成 22 年亡 |
| 13 回忌  | 平成 16 年亡 |
| 17 回忌  | 平成 12 年亡 |
| 23 回忌  | 平成 6 年亡  |
| (25 回忌 | 平成 4 年亡) |
| 27 回忌  | 平成 2 年亡  |
| 33 回忌  | 昭和 59 年亡 |
| 37 回忌  | 昭和 55 年亡 |
| 50 回忌  | 昭和 42 年亡 |

# “明るい遺影撮影会”

第3回は  
平成28年2月20日(土)  
13時30分より開催します



昨年10月と12月に2回行いました。皆で明るくワイワイ言いながら本堂の内陣をバックに撮影しました。

使うか使わないか、まあそれは別として、又いつでも取り直しも出来る気軽な撮影会です。

2月の予約は既に一杯ですが、ご希望があれば春以降も開催致します。ご遠慮無くお申し込み下さい。(会費は実費1,500円です)

## 感謝録

○内陣 高座用椅子 並びに 法要の日に花供養

■(長迫町) 若本 祐昭 さん  
母の逝去に際して



○生花で手作りされた立花<sup>りっか</sup>

■(広) 西田 政子 さん  
度々、屋内墓所還浄殿や本堂へお供えとして



○官製はがき400枚

■(黒瀬町) 村川 幸雄 さん  
ご先祖に感謝して

○金 10万円也 ■(焼山) 和田 俊治 さん 妻の初盆を向かえて

○金 5万円也 ■(寺本町) 渡辺 良孝 さん 総本山知恩院へ瓦の奉納として

○金 3万円也 ■(中通) 相方 幹司 さん 祖父50回忌、母23回忌を向かえて

昨年も、それぞれ縁の深い方々の菩提を願って奉納して下さいました。

頂いた浄財は、傷んでいた寺務所の天井、壁、床を改装した費用の一部に使わせて頂きました。誠にありがとうございます。

# 平成27年檀家会費・会計報告

(単位：円)

- 昨年も、皆さまのご協力をいただき、誠に有り難うございました。
- 今まで未納の方々にも、今年よりお納め頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

## 総本山知恩院 高齢者招待祝賀会

今年80歳を迎える方々  
どうぞご参加下さい

- ◆日時 平成28年4月18日(月)
- ◆場所 総本山知恩院
- ◆招待者 昭和11年生まれの方と  
同伴者1名
- ◆申し込み 2月末日までに正覚寺へ
  - ご出席の方には詳しい案内状をお送りします。
  - 当日出席出来なくても、申し込みの方には記念品をお届けします。
- ◆その他 交通費は各自でご負担下さい。

## しゅ しょう え 修正会と新年互礼会

日時/平成28年1月16日(土)  
午前11時より

- 毎年、新春を祝う会を行っています。
- 景品の当たる抽選なども行い、誰でも参加出来る会です。
- ご遠慮なくお申し込み下さい。

- 場 所  
/ 正覚寺本堂
- 会 費  
/ 3,500円  
(お弁当代他)
- 申し込み  
/ 1月10日までに  
電話などで



昨年の新年互礼会

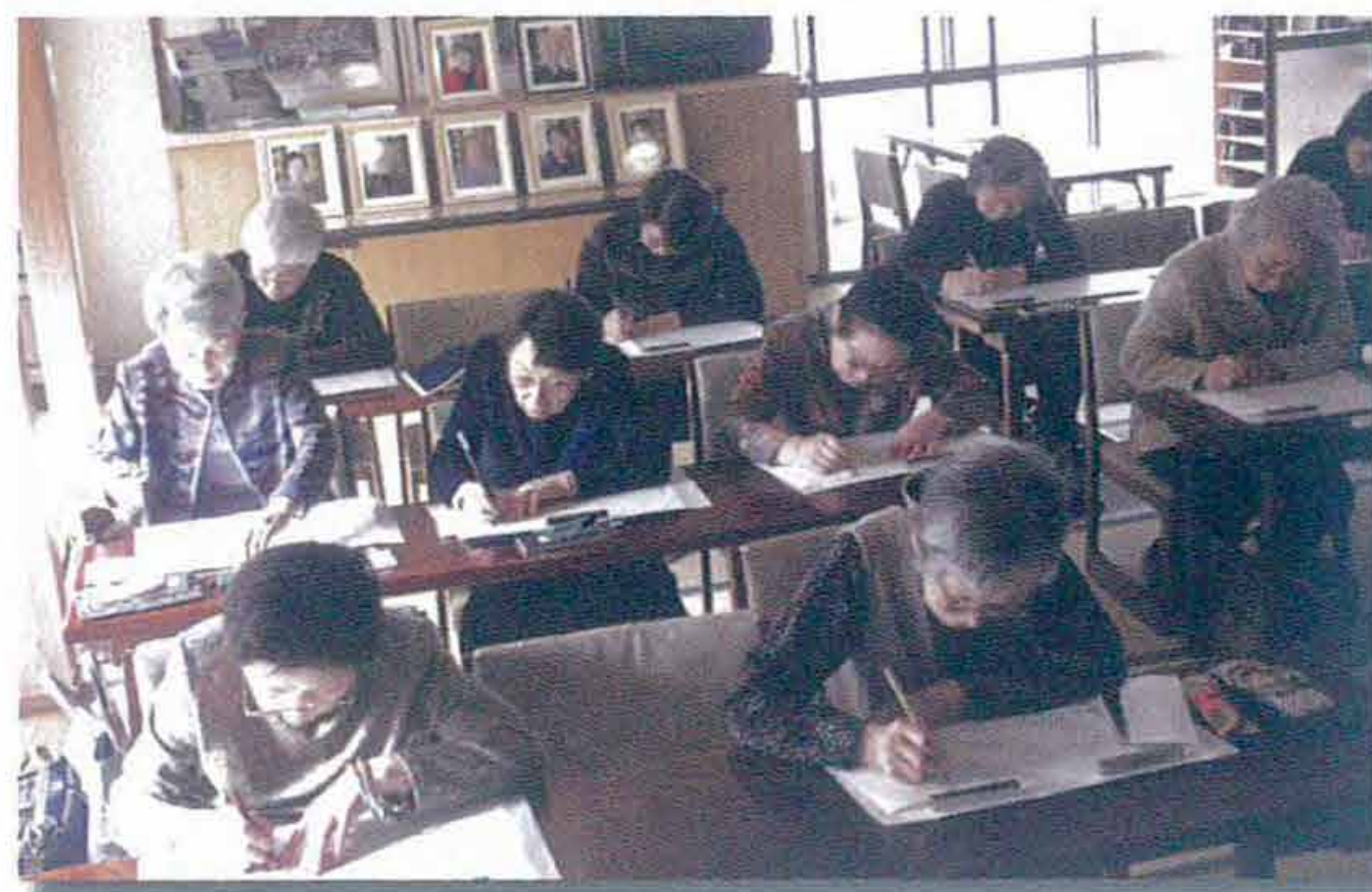
## 毎月 開催されている行事

### 静寂の時 写経の会

毎月 第1土曜日  
10:00~12:00

- 次回の「写経の会」は2月6日(土)
- 1月2日はお休みです。

- 筆ペンなどの筆記用具だけ持ってお越し下さい。
- その他、必要なものはすべて正覚寺で用意致します。
- 手本に重ねた薄い紙に書きますから、初めての方でも大丈夫です。
- 終了後は、お茶とお菓子と歓談をお楽しみ下さい。



写経中の皆さん

### 仏教入門 土曜塾

毎月 第3土曜日  
10:00~12:00

- 3月は春彼岸会です。

### ～住職や外部講師がお話します～

#### ■ 1月から3月の予定

| 日付   | 時間    | 内 容                       |
|------|-------|---------------------------|
| 1/16 | 11:00 | 修正会・新年互礼会                 |
| 2/20 | 10:00 | お釈迦様について (3)              |
| 3/19 | 10:00 | はるひがんえ<br>春彼岸会・春彼岸の心 (仮題) |

※4月からの内容は3月にご案内致します。

- 「写経の会」と「土曜塾」の参加費は1回300円です。
- つづいて午後の「フリースペース 伊サ<sub>1・3</sub> 土曜」をご利用下さい。無料です。

### フリースペース 伊サ<sub>1・3</sub> 土曜

毎月 第1・3土曜日  
12:00~15:00

## 本堂、庭、座敷などを開放しています！

—— みなさんのアイデアでご自由にお使い下さい ——

たとえば今は…

## ヨガ教室・明るい遺影撮影会などが行われています。

- 最初の30分は、椅子を使ったチェアーヨガ、あとの1時間はマットを使った少し本格的なヨガです。
- 他にも、詠唱の稽古、エンディングノートの書き方説明なども行っています。



ヨガの様子



詠唱の稽古

# 随泉寺住職継承式

—— 昨秋 10月31日(土) に挙行された ——

正覚寺副住職の山縣雷音が、東広島市の随泉寺住職に就任し、その継承式が爽やかな好天に恵まれた秋の日、随泉寺にて行われました。

随泉寺は、正覚寺現住職が永年兼務していた寺で、正覚寺とは以前より縁の深い浄土宗寺院です。

今後は随泉寺住職であると共に、これまで通り正覚寺副住職でもありますので呉と東広島を行き来することになります。

皆様方のご自宅へも今まで通りお参り致しますので、今後共よろしくお願い致します。



## 春のお彼岸

3月19日(土)

■ 朝10時より

講師：尼崎市・光明寺

柴田雅章師



## あとがき

- 昨秋、十夜法要には大和ミュージアム館長の戸高一成氏に「戦争の愚かさ、命の尊さ」と題してご講演を頂きました。テロへの報復など、いかなる理由があろうとも戦争だけはしてはいけません。
- トンネルも道路も要るけれど、より必要なのは人の道。そう感じさせる出来事が相変わらず続きます。子供達から大企業まで。日本でも海外でも。
- 墓じまい、合同墓、永代供養、そして就活ならぬ終活。そんな言葉を聞く事が多くなりました。物の整理、遺産相続、自宅の管理、葬儀のあり方、など心配事は誰にもあります。
- 正覚寺では、相談をお受けしますので遠慮無くご連絡下さい。又、専門家をご紹介する事も出来ます。とにかく、どこからでも始めてみる事が第一歩ではないでしょうか。



発行所／〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ／0823-21-6086 Eメール／shoukaku@orange.ocn.ne.jp

FAX／0823-22-9922 郵便振替／01300-5-13754